モーターサイクルスポーツの啓発普及事業

財団法人オートレース振興協会は、財団法人ＪＫＡからの補助金を受けて、１．キッズバイクスクール、２．ポケバイレース、３．バイクイベントを実施することにより、モーターサイクルスポーツの啓発普及活動を継続して実施しております。

さらに今後も上記イベントを開催する事により、モーターサイクルスポーツの楽しさ・魅力を多くの方々に伝えることが出来、今後のモーターサイクルスポーツの啓発普及に寄与出来るものと思われます。

以下に活動内容の一部を紹介します。

１．キッズバイクスクール

①平成２１年度から伊勢崎オートレース場で実施しているキッズバイク教室は、近隣の小学生にモーターサイクルスポーツの楽しさを知ってもらい、自らバイクに乗ることにより、バイク・車から見た歩行者等の危険性を身をもって体験する交通安全学習といった観点から始めたものです。

受付

説明

スクール

走路内体験走行

②使用するバイクは子供の入門用に製造された５０ｃｃのモトクロスバイク及びポケバイで、発進・停止からパイロンを使ったスラローム、簡単なコースでの走行を教えています。バイクに興味を持つ子供から毎回定員の倍近い応募があり、好評を博しています。

③平成２４年度からは、伊勢崎オートレース場でミニ競走車（実車の約２分の１）を使ったキッズバイク教室を本場開催中の日曜日に開催しており、参加者が毎回定員を上回る盛り上がりを見せています。なお、現在は場内の一部を囲ってスクールを行っていますが、今後は専用コースを造る等、次のステップへの移行を検討しています。

２．ポケバイレース

川口オートレース場において年２回、グレードレース開催中にポケバイレースを行い、レース場に来場したお客様に対し、モーターサイクルスポーツの認知向上を図っています。参加した子供達は白熱したレースを展開し、参加者・お客様共に大いに盛り上がりを見せています。

ポケバイレース

ポケバイ初心者教室

３．レース場でのバイクイベント

①平成２１年度に伊勢崎オートレース場で、平成２２年度には船橋オートレース場でモーターサイクルスポーツの啓発普及の一環として、各種バイクの醍醐味・おもしろさをＰＲするため、バイクイベントを実施しました。

レース場のオーバルコースを使用し、オートレース・ロードレース・スーパーモタード・オーバルトラッカー・サイドカー等を集めタイムトライアルや模擬レース等を行いました。中でも異種格闘技レースと称し、各カテゴリから１、２台を選出し距離ハンデを付けて行ったレースは、他ではなかなか見ることの出来ない内容が好評で、参加選手・お客様共に大きな盛り上がりを見せました。

スーパーモタード模擬レース

異種格闘技レース

また、走路の外ではＦＭＸ（フリースタイルモトクロス）や屋台村・四輪の展示会等のイベントも実施し、来場者数は１日で約５，０００人と予想を上回りました。

ＦＭＸの様子

屋台村

四輪展示

②伊勢崎オートレース場ではバイク雑誌「培倶人」とのイベントコラボレーションとして培倶人祭りを開催しており、回を重ねるごとに来場者数も増え、平成２４年度は３，５００人の来場者となりました。

③平成２０年度より、浜松オートレース場で行われているソーラーバイクレースの開催に協力しています。参加者は中学生から社会人まで、それぞれが工夫をこらした電動バイクを持ち込み、与えられたソーラーパネルからの充電のみを電源とし、スプリントレース

や耐久レース等を楽しんでいました。昨年は、浜松市市政１００周年の記念事業にも認定され、親子ソーラー工作教室等も開催し太陽光発電の有効利用及び節電・環境対策を学ぶ機会も同時に広める等、多方向への盛り上がりを見せています。

スタートの様子

レースの様子